

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		商店街（代表者）	・商店街を中心としてハード面での環境整備が整ってくる。駅前の整備に加えて、商店街では販促活動を強化するためのイベント広場が完成するほか、フランチャイズの飲食店や地元居酒屋の開店に伴う効果が期待される。	
		家電量販店（経営者）	・これまで客が節約していた分、今後、夏場にかけて売上は幾分上向いていくだろうと予測している。	
		家電量販店（店長）	・DVDレコーダー、デジタルカメラ、次世代携帯電話などのデジタル家電が好調に伸びており、全体としては夏季商戦時には盛り返すと思われる。	
		高級レストラン（経営者）	・観光シーズンになることや、最近の選挙の影響で売上が減っていたため、多少は期待ができる。	
	変わらない	その他レジャー施設（職員）	・季節要因に加えて、イベント開催に伴う入場者の増加など、来客数の増加が見込まれる。	
		商店街（代表者）	・夏物バーゲンの時期なので客足は出ると思うが、今年は札幌駅の大型複合商業施設の影響も含め、客が分散すると思われ、盛り上がりとしては期待できない。	
		スーパー（店長）	・中国等で発生しているSARSの影響で、旅行関連業の不振が予測されることに加えて、社会保険料率の引き上げなどを考えると、今後の景気好転は望めない気がする。	
		スーパー（企画担当）	・北海道内の失業率は依然として高止まりしており、また企業倒産も年明けから続発していることもあり、消費環境及び消費者心理に与える影響はますます悪化する傾向にある。	
		衣料品専門店（店長）	・客の立場からみて先行きが不安定であるため、商品を買う気が失われている気がする。	
		衣料品専門店（店員）	・2～3か月先には夏のボーナスが出る会社が多いと思うが、期待していない人が多いと思われ、それほど売上は変わらない。	
		家電量販店（地区統括部）	・雇用状況の悪化、賃下げと、ただでさえ北海道の消費マインドが冷え込んでいるのに、イラク情勢、SARS、株価下落と暗いニュースが多く、急激な回復を見込めない。	
		乗用車販売店（従業員）	・収入が減っている家庭が多く、先行きを心配しているため、契約の伸びる可能性が小さい。	
		一般レストラン（スタッフ）	・特に良くなりそうな情報がなく、社会保険料率の改正、航空運賃の値上げなどの不安材料がある。	
		旅行代理店（従業員）	・SARS問題の今後が全く不透明である。仮に治療法が解明されても、急には海外旅行者の増加につながるか疑問である。	
		タクシー運転手	・札幌市長選挙が再選挙となり、公共事業の発注が例年より遅くなり、ますます景気に影響が出てくるのが心配である。	
		やや悪くなる	スーパー（店長）	・商品購入は引き続き買い渋りの状況が続いていく。
			コンビニ（エリア担当）	・現状での週末の売上の減少に加えて、SARSの影響による観光の低迷等で行楽需要が望めない。
			コンビニ（エリア担当）	・公共工事が減少していることに加えて、今年度も予算が大幅に削減されたことにより、幹線道路沿いの店舗で売上の減少が続くと思われる。
			その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・明日が予測できないほど、急激に購買感覚が変化しているようであり、本当に先が読めない日々となっている。
高級レストラン（スタッフ）	・SARSの影響による外出の手控えなど、人の多く集まる場所を嫌う傾向が生じて、消費の低下が現れる。			
高級レストラン（スタッフ）	・現時点の予約件数は前年と比べてかなり減少している。また、たとえ客数が前年並みとなっても単価の上昇を見込める要素が見つからない。			
タクシー運転手	・SARS問題で観光客の動きが不透明であり、先行きに不安がある。			

		観光名所（役員）	・航空運賃のアップによる国内旅行の減少に加えて、SARSの影響によりアジアなど海外からの観光入込みの大幅な減少が予測される。
		美容室（経営者）	・客単価が下がってきており、今後もこの傾向は続く気配がある。
悪くなる		一般小売店〔土産〕（店員）	・SARSの影響はイラク戦争よりも長引きそうな気配なので、今後も海外旅行者の低迷が続くと思われる。さらには、不景気による国内旅行の需要の低下も考えられ、旅行業界にとっては厳しい状況が続くのではないかとと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・企業倒産及びSARSに伴うアジアからの観光客のキャンセルにより、景気が悪くなる。
		スナック（経営者）	・良くなる理由が一つもない。ただし、これから夏場にかけて、SARSの影響で海外旅行が減った分、道内・国内旅行者が増えるとは思いますが、あまり多くは望めない。
		旅行代理店（従業員）	・SARSの回復が不透明である。
		旅行代理店（従業員）	・当地区では、不景気のため、一昨年の米国同時多発テロ以前から海外旅行が低迷しており、現在もなかなか回復していない。それに加えて、イラク戦争以上にSARSが大きな要因となり、当支店取り扱いの海外旅行は、皆無に等しい状況になっている。海外旅行の減少分が国内旅行にシフトしているわけでもなく、未曾有の危機と考えている。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢、SARS、統一地方選挙、飛び石連休と悪材料が重なり、第1四半期は非常に悪かったが、とくに海外旅行の回復は、当面望めないと思われる。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・工事の引き合いや受注が、官・民及び土木・建築とも増加してくると期待している。ただし、競争が激しく、単価が下がっており、利益面では相変わらず厳しい。
		通信業（営業担当）	・顧客の動向として、凍結されていた設備投資に関して、部分的ではあるが、再開される動きが出てきた。
	変わらない	食料品製造業（社員）	・アジア中心のSARSが旅行の減退を招いている。当地方は、アジア地区からの観光客が多くなってきていた時期だけに、その影響は大きい。しかし、国内旅行の増加、とくに北海道への旅行の増加が発生しうると考えられ、ゴールデンウィーク時期とその後の夏までの時期にどれだけの流入があるかが鍵となる。
		食料品製造業（団体役員）	・国内の中小企業及び当地の食品加工業界では、生産拠点を中国から他の東南アジア諸国へシフトした企業との間で、さらなる安価な商品との競合が起こってきており、当地の水産加工業でも、中国人の雇用を模索する企業が見受けられる。
		輸送業（営業担当）	・大手取引先の新年度予算計画を見てみると、概ね前期並みとなっている。
		金融業（企画担当）	・観光シーズンを迎えるが、SARSの影響で、中国、アジアなどからの観光客が激減することが懸念される。
		司法書士	・統一地方選挙が終了し、行政や企業も本格的に事業活動を進められると思われる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・信用不安の風評が増えてきた。
		その他非製造業〔機械卸売〕（従業員）	・今まで償却金額相当の設備投資をしていた取引先で償却ができなかったり、中古品で間に合わせてしまったりする状況であり、新品の機械が売れなくなっている。
やや悪くなる	金属製品製造業（統括）	・住宅の着工棟数が昨年より減っているため、今後の受注量についても期待できない。	
	輸送業（支店長）	・荷動きの低下に歯止めがかからない状況であり、これは物流業界はもとより、各業界の経済活動の低下を意味している。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・どの業界でも淘汰が進んでおらず、価格がダンピングにより低下している。	

	悪くなる	その他サービス業〔システムハウス〕（経営者）	・仕事量の絶対量があまりに不足しており、リストラを進めても、今後どれほど厳しい状況になるのか予想もつかない。また、体力のない中小企業の存続を危ぶむ話もかなり聞こえてきている。今後は、網の目のような連鎖倒産が危惧される。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・農作系の募集で、収穫時期に合わせた求人が出てくると、夏の短期のアルバイト募集が出てくるのを予想して、若干だが良くなるのではないかと考えている。
		職業安定所（職員）	・今夏に商業施設の進出が2件予定されており、雇用需要が見込まれる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・生産及び加工を含め、農業関連は堅調と考えられるが、建設関連及び自衛隊の再編に伴う人口の減少が心配される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今のところ、求人数が大きく変化する要因は見当たらない。ただし、雇用形態の多様化がかなり進んでおり、求人数と景気との関連性が見えにくくなっている。
		職業安定所（職員）	・景気の先行きに不透明感があり、とりあえずは就職したものの、賃金や職場環境等に満足できず、在職中に再度職業安定所に来所するという傾向がみられる。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は9か月連続して前年同月を上回っているものの、全道平均より低い水準で推移している。また、パート求人が増加傾向にある。	
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・イラク情勢、SARSの影響で航空関係、旅行関係の派遣先で影響が大きいとみられる。	
	悪くなる		